

## 2024年11月9日（土）クラブ交流会報告

場所：泉陽会館2階

参加者：来賓9名、卒業生27名、役員12名

クラブ内訳：運動部12、文化部3

【第一部】前半14:30～15:30の報告

司会進行：川端満（27期：組織委員会）

### □福井会長挨拶

・運動部・文化部の参加者へ感謝と、本校より参加いただいた、校長先生、教頭先生へ歓迎の言葉を述べられました。

・そして今後も交流会を続け、学校および現役生に貢献できる様に呼びかけられました。会議ならびに懇親会で参加者皆さんの、ご意見や楽しいお話を聞かせていただき、今後の交流会の発展につながることをの挨拶をいただきました。



### □校長先生挨拶、現役生クラブの活動報告

・各クラブ紹介の前に、本校は文部科学省が推進する「DXハイスクール」の対象校で、年間1000万円の補助を受けていることを紹介。

・ここ数年、公立高校には逆風が吹いており、定員割れとなる学校が出てきています。本校はこの春1.39倍あり安堵していますが、将来に向けてはクラブ活動を通して鼓舞できればとの思いをお話されました。



・資料説明に先だち、野球部顧問、男子バレーボール部顧問、女子バレーボール部顧問の先生方から、それぞれの部の戦績ならびに、特徴を話していただきました。

・ここから校長先生により、各クラブの近況の説明をいただきました。  
各クラブの紹介は別表にまとめましたので、こちらをご覧ください。

[https://senyokai.jp/wp/wp-content/uploads/2024/11/20241109\\_club\\_shokai.pdf](https://senyokai.jp/wp/wp-content/uploads/2024/11/20241109_club_shokai.pdf)

※各クラブ紹介の写真は、教頭先生が準備してくださいました。



#### □教頭先生挨拶

・大阪府の財政が厳しく、備品購入が思うようにいかない。ただ府では「大阪教育ゆめ基金」という学校版のふるさと納税の制度が設けられています。

<https://www2.osaka-c.ed.jp/senyo/folder/post-72.html>

学校を指定し寄付ができる仕組みとなっていますので、卒業生の皆様に支えていただきたいと、基金活用の案内がありました。

#### □（仮名）UMAKU 泉陽スポーツクラブの創立概要説明（サッカー部顧問他）

・中学校は部活動地域移行という問題を抱えており、子どもたちのスポーツ機会が失われている。

・総合型地域スポーツクラブの必要性の説明と UMAKU 泉陽スポーツクラブ立上げ支援の呼びかけ。

・野田中学校の先生から、野田中学校を拠点とした総合型地域スポーツクラブの運営事例のご紹介。

・UMAKU は地域民間企業である UMAKU 株式会社が、IT 技術を活かしながら地域スポーツの社会問題の解決を支援している会社名。

第一部前半終了：休憩

作成：組織委員会 川端 満（27期）